

この度、山口市にある宮野小学校において景観学習を実施することができました。建築士会の山口支部が主体となり、親会・青年・女性部と一緒に準備から活動実施まで連携して行いました。私たちの住む街には何もないといった地元景観の価値を見失っている子供たちが増えているのではないかということに危機感を感じ、故郷への誇りと愛着をはぐくむため景観学習を計画する運びとなりました。このような活動内容が認められ、当建築士会が山口市景観整備機構に認定されました。

また、ニューヨーク・タイムズが「2024年に行くべき52カ所」を発表し、その3位に日本から山口市が選ばれて話題になりました。地元に住んでいる子供たちに街の魅力に改めて気づいて欲しいとの思いもあり、活動の後押しになりました。

●開催状況について

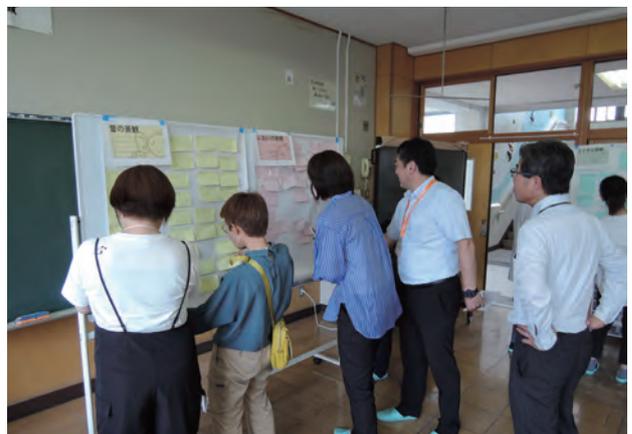
今回は山口市立宮野小学校の4年生を対象とし、段階的にプログラムを組んで、景観学習を行いました。子供たちに楽しく・安全に景観学習を行ってもらえるよう内容説明から準備をしっかりと行い、景観を楽しく学んでもらえるような様々な仕掛け・アイテムを設けました。「五感」を感じて景観を探することで感性を刺激し、楽しく・積極的に子供達にも取り組んでもらえたと思います。自分たちで見つけた景観を模造紙に纏めて、発表するところまでを景観学習の中で実施しました。

【第一回景観学習（令和6年6月21日）】

※景観について学び、校内の景観探しを実施

- 9:35～9:55：景観について
- 9:55～10:05：山口市の景観について
- 10:05～10:15：校内景観探しのルール説明
- 10:15～10:45：校内景観探し+記録
- 10:45～11:05：休憩（スタッフが記録纏め）
- 11:05～11:25：講評

景観学習の導入として、景観について学ぶ時間を設けました。小学校4年生を対象としており、景観とはどういったものなのか、山口市の景観はどのようなものかを分かりやすく、丁寧に説明することが難しく、十分な準備やリハーサルが必要だと改めて感じました。次に五感による景観の見方・感じ方の説明を交えて、景観探しのポイントを説明し、校内での景観探しを実施しました。学校の授業のコマ割りにあわせて実施したため、時間に制約があり、記録纏めはスタッフで行いました。



【第二回景観学習（令和6年10月29日）】

※校外の景観探しを実施。

- 8:30～8:50：景観探しの説明、注意事項等
- 8:50～10:30：校外景観探し
- 10:35～11:35：まとめ作業
- 11:35～12:05：各班発表
- 12:05～12:15：講評

同じ宮野小学校の第一回の景観学習を受けた4年生を対象とし、校外景観学習を実施しました。継続的な学習となっているため、初回に比べて児童の理解もあり、スムーズに進めることができたと感じました。1班5～6名ほどで班分けをし、それぞれの子供たちに記録する係や写真を撮る係など役割が与えられ、主体性・自主性をもって学習に取り組んでもらえたと思います。スタッフもあくまで困った時のサポート役として寄り添い、子供たちが楽しそうに景観探しをしている姿がとても印象的でした。校外での景観探しは5つのコースに分けて、各班分かれて散策しました。そのため、安全面で十分な配慮が必要となり、スタッフの人数も1班に2人程度を付き添いとして配置しました。学校に戻ってからは景観マップづくりや発表も子供たちが行き、「五感による景観」をもとに多くの景観を楽しみながら地域の魅力を再発見してもらえたと思います。

●成果と課題

子供たちが景観学習を通して、山口市や身の周りの景観に気づき、魅力を感じてもらえた姿をみて嬉しくなりました。景観に興味を持ってもらい、地元愛を育み、自発的な行動に移すところなど、短い時間のなかでもたくさんの成長が見られました。子供たちにとってもですが、私達自身もとても良い経験をさせて頂きました。課題としては、準備期間に時間を要することや学校側の理解もないと実現が難しいため、実践的な知識を持って効率的に行うことが重要であると感じました。

今回の景観学習を通して、子供たちが地元を好きになってもらうきっかけを作ること、子供たちが一度都会に出ても、いつか必ず地元に帰りたいという気持ちを持ってもらえるのが嬉しいです。将来の山口県を担う子供たちが、ふるさとの美しい景観に気づき、ふるさとへの誇りと愛着を育むための第一歩がこの景観学習です。さらに、景観から建築に興味を持ち、将来建築士になりたいと思ってもらえる子供たちが1人でも多く出てきてくれることを期待します。

